

鏡川 “魚の道” をつなぐ会

スタート記念講演会 & 結成総会

～100万匹の天然アユが遡上する、多くの生き物がにぎわう鏡川を目指して～



アユをはじめ、ウナギやヨシノボリ、テナガエビ、ツガニなど、川と海を行き来して生活する生き物がたくさんいます。しかしながら、例えば鏡川には鏡ダム下流に5箇所の堰（せき）があり、生き物の自由な移動が妨げられています。

私たちが、少し意識を変え、生き物に配慮するだけで、分断された川と海のつながりを取り戻し、生物多様性豊かな自然環境を取り戻すことができます。

安価で効果的な「水辺の小わざ」魚道づくりで全国各地で実績のある浜野龍夫氏をお招きし、事例紹介をしていただきます。

1 記念講演（14:00）

「水辺の小さな自然再生で地域を元気に！」

浜野 龍夫氏（徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 教授）

2 報告（14:40）

「川と海で生きるウナギの話」

関 伸吾氏（高知大学農学部 海洋生物生産学コース 教授）

「鏡川におけるアユの現状と課題」

藤田 真二氏（株式会社 西日本科学技術研究所 取締役）

「100万匹の天然アユが遡上する鏡川をめざして～都市河川の役割～」

大崎 靖夫氏（鏡川漁業協同組合 理事）

「森と海をつなぐサツキマス」

松浦 秀俊氏（高知県友釣連盟 顧問）

「ホタル保護に向けた取組み」

高知市環境政策課

3 結成総会（16:00）

立ち上げ準備会

連絡先：坂本耕平（鏡川流域ネットワーク副会長）

携帯 090-2781-7348

E-mail tukasa1@ir.alptec.net

2015年

5/17（日） 14:00～16:30

自由民権記念館 民権ホール

（高知市棧橋通4丁目 14-3）

参加費無料 どなたでも参加できます

後援：高知市